

神小だより 第3号

令和5年6月6日

1学期の振り返り地点を通過しました。

1学期も早いもので振り返り地点を通過しました。子どもたちは学習や運動、読書や外遊び、委員会活動などにも元気に取り組んでいます。5月末の梅雨入り宣言後、雨や曇りのマークがずらり並ぶようになってきました。子どもたちにとっては、休み時間に運動場で思いっきり遊べない、ストレスの溜まる季節かもしれません。ここ数年ゲリラ豪雨に代表される梅雨時期の災害が多発しています。警報発令時の児童の迎えについても、文書を発出しておりますので御確認ください。もう一つ心配なのが「熱中症」です。梅雨の晴れ間や梅雨明け間近は「熱中症」が多く発生すると言われております。体調管理の難しい時期です。健康・安全についてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ミニコンサートを実施しました!

5月25日(木)体育館でミニコンサートを実施しました。小中学校へのアーティスト派遣事業でピアノ奏者山本貴子さん(徳島市)、フルート奏者木藤麻衣子さん(愛媛県)、バイオリン奏者江島万梨子さん(岡山県)をお招きし、楽器の生の音色や演奏を聴かせていただきました。

世界のクラシックの名曲から日本の四季メドレーなど様々な曲を聴かせていただきました。「ありすのうた」もみんなで歌いました。

児童のみんなが、疑問に思ったことを積極的に質問する姿に、3人のアーティストの方々も感心していました。



体カテストを実施しました!

5月18日(木)、全校児童で体カテストを実施しました。全員が真剣な表情で記録に挑戦しました。

1年生は初めてですが、2年生から6年生は、昨年の自分に挑戦するという目標もあったのかもしれないね。毎日の外遊びが大切ですね。



立ち幅跳び



ソフトボール投げ



上体起こし



反復横跳び



50m走

体カアップ活動が始まりました!

体カアップ活動が始まりました。第3・4木曜日の昼休みに運動場や体育館で、ラグビーや陸上運動を中心に実施していきます。初めての活動の時、集合や準備に関して「時間を有効に使える行動をしよう」と話があり、2回目からは意識した行動ができていました。運動の最中もみんなで声を出し合いながら、とても良いふんいきで活動できています。



あいさつと登校班のルールについて話し合いました!

新学期が始まって1か月ほど経った5月の初め、体育館に集まって登校班での交通安全に関するルールやあいさつについて話し合いました。高学年が中心になり、安全上気になることを出し合い、また、より気持ちの良いあいさつをすることの意義について話し合いました。自分たちで考えることの大切さを感じる時間でした。





交通安全について考える機会が続けてありました。

まずは5月30日(火)、交通安全教室がありました。自転車点検や自転車の乗り方の実地指導はできませんでしたが、体育館で腹話術による交通安全の講話を楽しんだり、DVDを視聴して徳島名西警察署の方からお話を聞いたりしました。4年生以上の道路での自転車利用につきましては、ご家庭の安全管理のもとで交通ルールをしっかりと守り、ヘルメットを必ず着用して乗るようにしてください。よろしくお願いいたします。

続いて6月1日(木)、「名西警察署主催のキャンペーン」に参加しました。マスコットキャラクターのうずしお君とグッズを配布したり、音楽隊の演奏聞いたりしました。自分たちだけでなく地域の人にも交通安全を呼びかける機会になりました。



2年生が1年生を優しくリード「がっこうたんけん」

5月19日(金)、生活科で1・2年生が「がっこうたんけん」をしました。グループに分かれて、2年生が1年生を優しくリードしながら校内をたんけんしました。ここはどんな教室(部屋)か、どんな学習で使うのかなどを1年生にやさしく説明したり、クイズに挑戦したりしました。もちろん校長室にも来てくれましたよ。1年生を連れて役割を果たしながらしっかりと案内する様子を見て、2年生が頼もしく感じました。



アリスタイムが楽しくスタートしました。

5月23日(火)、今年のアリスタイムの先頭を切って、6年生が修学旅行について発表しました。修学旅行の思い出をクイズにして楽しい発表をしてくれました。クイズを劇風に表現したり、話し方に抑揚を付けたりしながら低学年の児童も楽しめるようによく工夫をしていました。その結果、5年生を中心に他の学年の児童も積極的に質問したり、感想を言ったりすることができました。これからのアリスタイムも楽しみです。



2年生お接待体験! (やさしい心が全国に広がっています!)

5月9日(火)、2年生が焼山寺へお接待体験に行きました。この活動は、コロナウイルス感染症の影響でしばらくできませんでした。当日はお天気も良く、たくさんの方々の参拝者の方々と出会えました。最初は緊張気味だった児童もお遍路さんのやさしい「ありがとう」という言葉でより積極的にお接待体験をすることができました。町内の民生委員のみなさんにもたくさんバックアップしていただきました。



児童とお遍路さんの「やさしさのリレー」はその後も続き、全国各地から2年生児童への感謝のお手紙が届いています。また2年生もそのお返事を送る準備の中で、相手が喜ぶもの(こと)を一生懸命考えているそうです。

やさしい気持ちが伝わるだけでもうれしいのに、それが感謝の気持ちになって返ってくるとなおよさですね。



校長室から

「子どもたちから学ぶ」と言いますが、学校で勤務しているとよくそんな場面に出会います。先日、1年生と一緒に道の駅へ交通安全教室に出かけました。行く途中、神山中学校のとなりで工事をしていたおじさんに、「こんにちは。」とかわいい声であいさつの輪唱。ここまではよく見る光景です。次の瞬間、ある1年生から「お仕事ががんばってください。」との声が…。少し驚いたおじさんは満面の笑みで「ありがとう」と返してくれました。このあと「お仕事ががんばってください」の輪唱。おじさんはとてもうれしそうでした。「素直さ」は「かわいさ」であり、子どもの「かわいさ」が感動に値する場面でした。もうひとつ、おじさんにも感謝!おじさんの対応一つで、この「かわいさ」は生まれなかったかもしれません。そう考えると、子どもと接する大人の責任で大きなあと実感した1日でした。